フロン排出抑制法　点検記録簿参考様式　　　　　　　　　　　　　　（2022年８月更新版）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 管理番号 |  |
| 基本情報 |
| (1) | 管理者の氏名又は名称 |  |
| 実際に管理に従事する者の氏名（法人の場合） |  |
| (2) | 管理第一種特定製品の所在 |  |
|  |
| 管理第一種特定製品を特定するための情報 |
| 製品種類 | 用途 | 型式・型番・定格出力 | No. |
| 未選択 | 未選択 |  |  |
| (3) | 管理第一種特定製品に冷媒として充塡されているフロン類の種類及び初期充塡量 |
| 種類(冷媒番号、GWP) |  | 充塡量(kg) |  |
| 点検、修理等の記録 |
| 実施年月日 | 実施事項 | 実施者の氏名等 | 充塡/回収したフロン類 |
| 種類(冷媒番号) | 量(kg) |
|  | 未選択 |  |  |  |
|  | 未選択 |  |  |  |
|  | 未選択 |  |  |  |
|  | 未選択 |  |  |  |

備考

・　「製品種類」、「用途」及び「実施事項」の欄については、プルダウンから選択します。

・　「実施者の氏名等」欄は、上記の事項を実施した者の氏名（法人にあっては、その名称及び当該点検を行った者の氏名を含む。）や補足事項を記入します。（「簡易点検」又は「常時監視システム利用」の場合には記入不要。）

・　管理者判断基準に定める基準に適合した常時監視システムを利用し簡易点検の実施に代える場合は、「実施年月日」欄に利用期間（利用中の場合は始期のみ）を記入し、「実施事項」のプルダウンから「常時監視システム利用」を選択します。

・　「充塡/回収したフロン類」の欄は、「充塡」又は「回収」を実施した場合に記入します。

・　「簡易点検」、「常時監視システム」、「定期点検」により漏えい又は故障等が認められた場合、又は「修理」を行った場合は、故障や修理の内容を詳細事項①・②に記入します。

留意事項

・　第一種特定製品の管理者は、第一種特定製品整備者又は第一種フロン類充塡回収業者から、管理第一種特定製品の整備に際して本記録簿の提示を求められたときは、速やかに、これに応じる必要があります。

・　本記録簿は、機器の廃棄を行い、当該機器に充塡されているフロン類の引渡しを完了した日から３年間、保存する必要があります。また、機器を他者に売却する場合、本記録簿又はその写しを当該機器と合わせて売却の相手方に引き渡す必要があります。

|  |
| --- |
| 詳細事項① |
| 実施年月日 | 漏えい又は故障等の箇所その他の状況に関する事項※［該当する場合］速やかな修理が困難である理由及び修理の予定時期 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 詳細事項② |
| 実施年月日 | 当該修理の内容及びその結果 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

備考

・　実施年月日については、「簡易点検」、「定期点検」、「修理」の実施年月日又は「常時監視システム」から漏えい又は漏えいの疑いがある旨通知された年月日を記入し、１ページ目の表と対応可能なものとすること。必要に応じて、図面等を添付します。